

山陽新幹線（「ひかりは西へ」）



* 行政資料60 商水62 「Products of Yamaguchi Japan」 (上)

* 行政資料グラフ山口商工220 「日立笠戸工場
新幹線車両製造 下松市(写真)」 (下)

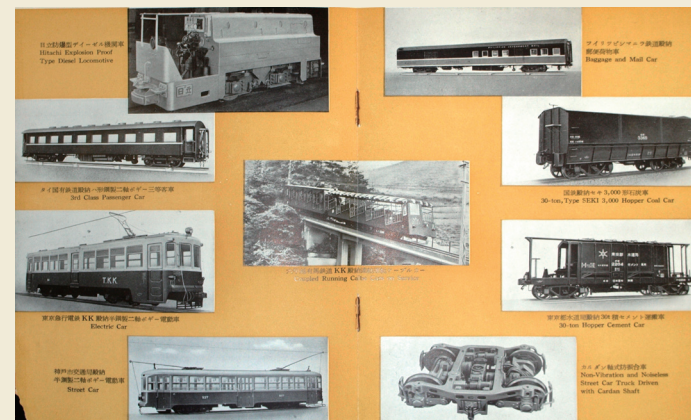


解説

東海道新幹線は、東京オリンピック開催の直前、1964（昭和39）年10月1日に開業しました。これにより、東京・新大阪間が超特急「ひかり号」によって約4時間で結ばれることとなりました。

その後も、新幹線は「ひかりは西へ」のキャッチフレーズのもと西へ西へと伸ばされ、1972（昭和47）年に新大阪・岡山間、さらに昭和50年に岡山・博多間が開通しました（山陽新幹線）。

左の写真は新幹線車両の製造風景です。車体の製造は5社が担当しましたが、日立製作所笠戸工場（下松市）もその一つでした。



* 日立製作所笠戸工場は1917（大正6）年に創業された車両工場で、国内はもとより海外の様々な車両を製造しました（リーフレット1950年代14「笠戸工場案内」）。